

# 今度の特捜部長は

# 何でもやる

## 渡辺、松島 大甘処分でも 小沢は逃げられない!



笑ってられるのも今のうち…

「こんな大甘処分では「救済刑日」のバツジが泣く、刑事書院されていた道辺善喜元みんなの党代表と松島みどり前法相を不起訴処分にした東京地検特捜部、渡辺や松島と同様に刑事書院された小沢優子前経産相のテララメ政治資金問題の決着も期待薄だが、ガツカリするのはまだ早い。新たな特捜部長に、委の小沢総罪事件を主導した捜査が就くからだ。

### 小沢冤罪事件の「主導」者

「トリル優子」のケース、小沢もおとがめなしならは極めて悪質だ。問題が「政治風潮」じゃない」といって発覚すると、金庫番だった。小沢は翌日に国会が高橋前中野市長は突然、町長職をラン投げて、捜査をラン投げて、金を事務所を移して、会計書類を保存したパソコンをトリルで徹底的に破壊した。「証拠隠滅」は明らかで、折田はもう一人、「知らぬ存ぜぬ」の



「前特捜部長」の田代俊弘氏

いるよ。だが、新たな特捜部長はタダ者じゃない。09年から特捜部副部長として小沢を逮捕した。失職させた斎藤博博の責任が内定。田代俊弘氏とともに市民団体から偽計業務妨害

### あの「執念」発揮するのは今

「小沢事件の起訴捜査報告書」は、当時の特捜部長、並々ならぬ執念を燃やしていた斎藤氏、あらゆる手厚くして小沢を法廷に送らねばならぬ。共犯関係に縛り付けた執念を今、小沢秘書が起訴された。政治資金規正法違反事件は、4億円の不動産購入

国会開会直前の20日に特捜部長が交代する。小沢秘書が起訴された。政治資金規正法違反事件の表れ——と捉えられて